



2024年6月25日

各位

三菱HCキャピタル株式会社
代表取締役 社長執行役員 久井 大樹
(コード:8593 東証プライム)

支配株主等に関する事項について

1. 親会社、支配株主(親会社を除く)またはその他の関係会社の商号等

(2024年3月31日現在)

名称	属性	議決権所有割合(%)			発行する株券等が上場されている金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ	その他の 関係会社	14.51	5.52	20.03	株式会社東京証券取引所 プライム市場 株式会社名古屋証券取引所 プレミアム市場 ニューヨーク証券取引所
三菱商事株式会社	その他の 関係会社	18.40	0.00	18.40	株式会社東京証券取引所 プライム市場

2. 親会社等のうち、当社に与える影響が最も大きいと認められる会社の名称およびその理由

会社の名称 株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
理由 筆頭株主であるため

3. 親会社等の企業グループにおける当社の位置付け、その他の当社と親会社等との関係

(1) 親会社等の企業グループにおける当社の位置付け、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的关系

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、合算対象分を含めた企業グループとして当社の筆頭株主であり、合算対象分も含めて、当社議決権の 20.03%を所有しています。

また、三菱商事株式会社は、当社の第二順位の大株主であり、当社議決権の 18.40%を所有しています。当社の取締役のうち 1 名は、同社の常務執行役員を兼務しています。

当社および株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ、ならびに当社および三菱商事株式会社は、お互いを戦略的に重要なパートナーと考えており多様な協業を通じて企業価値向上をめざしています。

当社は、顧客または協業先として、三菱 UFJ フィナンシャル・グループおよび三菱商事グループの各社との取引関係があります。また、当社は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループの子会社との間に事業用資金等の借入等の取引があります。

(2) 親会社等からの一定の独立性の確保に関する考え方およびそのための施策

三菱UFJフィナンシャル・グループおよび三菱商事グループの各社との取引は、他の取引先と同様の基本契約、市場価格によることとし、適正な取引を確保しています。また、当社は自主独立経営を重視しており、これら各社との取引等に依存することなく、他の取引先との取引拡大を積極的に推進しています。また、資金調達の基本方針として、特定の金融機関や手段に依存しない多様かつ安定的な資金調達を行うこととしています。

(3) 親会社等からの一定の独立性確保の状況

上記のとおり、当社は上場企業として当社の責任のもとに独自に経営の意思決定および業務執行を行っており、親会社等からの独立性を確保しています。

なお、当社の取締役12名のうち5名(3分の1超)は独立社外取締役です。

(役員の内兼任状況)

(2024年6月25日現在)

役職	氏名	その他の関係会社での役職	就任理由
取締役	近藤 祥太	三菱商事株式会社 常務執行役員	日本を代表する総合商社での豊富な経営経験と国内外の事業に対する高い知見を生かし、実践的な視点により、社外取締役として取締役会の適切な意思決定および経営全般の監督に貢献いただけると判断し、新任の取締役としました。 近藤氏は、当社の主要株主である三菱商事株式会社の常務執行役員を兼務しており、独立役員には指定していませんが、同社は当社にとって協働して企業価値の向上をめざす重要なビジネスパートナーです。 当社は、近藤氏の経営経験と国内外の事業全般に関する幅広い知見を当社経営に活用すること、また、当社と協働する事業領域における責任者である同氏の助言を有効に活用することが、当社の企業価値向上につながり、少数株主を含むすべての株主利益の向上に資すると判断しています。 近藤氏からは、特定の株主ではなく、当社のために取締役としての職務を遂行する旨の意思表示を受けています。また、仮に当社取締役会において当社の利益と同社の利益が相反する議案が付議された場合は、その決議のみならず審議にも参加しないこととしています。

4. 支配株主等との取引に関する事項

記載すべき重要な事項はありません。

■本件に関するお問い合わせ先

三菱HCキャピタル株式会社

コーポレートコミュニケーション部

〒100-6525 東京都千代田区丸の内一丁目 5 番 1 号

TEL 03-6865-3002 (直通)

以上